

令和 6年10月「月報」

1 はじめに

防衛省は8月30日に令和7年度概算要求を行いました。

防衛力整備計画3年度目となる要求額は8兆5,389億円。2027年度までに防衛力の抜本的強化を実現するために、令和7年度中に着手すべき事業を積み上げるとともに、計画期間中のこれまでの事業の進捗状況も踏まえて、歳出額を増額したものです。

防衛力の抜本的強化に当たって重視する7つの分野（①スタンド・オフ防衛能力、②統合防空ミサイル防衛能力、③無人アセット防衛能力、④領域横断作戦能力、⑤指揮統制・情報関連機能、⑥機動展開能力・国民保護、⑦持続性・強靱性）への投資を引き続き重視するとともに、厳しい募集環境に直面する中、防衛力を「人」の面から強化するため、処遇面を含む職業としての魅力化や、部隊の高度化、部外力の活用を通じた人的基盤を抜本的に強化することとして、「募集業務の充実・強化」で地方協力本部への非常勤職員の増員や自衛隊奨学生制度の拡充（注：学資金額の引き上げ）、再就職制度の充実の他、営内居室の個室化、水上艦艇でインターネットを閲覧できるようにする等、自衛官の給与・手当の見直しとして、自衛官任用一時金の見直し、転勤で長距離移動する自衛官の処遇改善等、そして、再就職支援の充実・強化、ハラスメント防止対策が要求されています。

詳しいことは「おやばと」をご覧ください。

2 防衛省・自衛隊の活動

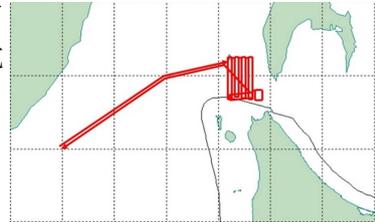
- (1) 9月21日（土）石川県を襲った大雨に際し、石川県知事から陸自14普通科連隊長に対し、輪島市等における豪雨のための人命捜索救助活動に係る災害派遣要請があり、陸自第14普通科連隊、第10後方支援連隊、第10施設大隊、施設支援隊（372、381、382、402各施設中隊）、第10高射特科大隊、第10特殊武器防護隊、陸自中の方航空隊、第10飛行隊、空自第23警戒隊、小松救難隊、新潟救難隊等が1200～1400人態勢で、人命救助、情報収集、道路啓開、物資輸送、給水支援等を実施しています。



- (2) 9月23日(月)、ロシアのIL-38哨戒機が、13次03～04分頃、15時31分頃、15時42～43分頃の3度にわたり北海道礼文島沖の領海上空を侵犯したことを確認し、自衛隊は、空自北部航空方面隊の戦闘機を緊急発進させ、通告及び警告を実施する等の対応をしました。



IL-38



対象機の行動概要

- (3) 自衛官の定年年齢の引上げ(防衛省発表より)

自衛隊の活動を支える人的基盤を一層強化していくため、装備品の高度化や任務の国際化などに対応できる知識・技能・経験等を豊富に備えた人材の一層の有効活用が必要です。

このため、令和4年12月に策定された国家防衛戦略等を踏まえ、精強性にも配慮しつつ、自衛官の定年年齢の引上げを2か年に分けて実施することとしております。

令和5年10月に1尉から1曹の階級にある自衛官の定年年齢を1年引き上げましたが、更に、今般自衛

隊法施行令(昭和29年政令第179号)を改正し、令和6年10月に1佐から3佐、2曹及び3曹の階級にある自衛官の定年年齢を1年引き上げることとしました。

	令和5年9月以前	令和5年10月(現行)	令和6年10月
1佐	57歳	57歳	58歳
2佐	56歳	56歳	57歳
3佐	56歳	56歳	57歳
1尉	55歳	56歳	56歳
2尉	55歳	56歳	56歳
3尉	55歳	56歳	56歳
准尉	55歳	56歳	56歳
曹長	55歳	56歳	56歳
1曹	55歳	56歳	56歳
2曹	54歳	54歳	55歳
3曹	54歳	54歳	55歳

3 家族会の活動

- (1) 防衛懇談会開催



講師：佐藤正久顧問

10月5日、さいたま共済会館(浦和市)で、防衛講演会を開催しました。「我が国を取り巻く安全保障環境と自衛隊が進むべき道」と題し、200名を超える聴衆に対して、講師の佐藤正久顧問が、戦後最も厳しく複雑と言われる安全保障環境、その環境下で任務に就く自衛官の覚悟や誇り、そしてその処遇の改善の必要性等を「熱く」かつ「分かり易く」お話し



してくださり、意識を向上させたところです。

担当の埼玉県家族会 斎須会長↑

(2) 隊員の激励

10月1日、中條神奈川県家族会長、杉田副会長、栗城広報担当理事が護衛艦「むらさめ」に、艦長早川2海佐、前任伍長 渋川海曹長を訪問し、第49次海賊対処行動水上部隊を激励しました。



訪問時は早川艦長はじめ幹部の皆さんのお出迎えを受け、また、艦長、前任伍長から家族会へのメッセージをいただくなど、出発前のお忙しいところ、30分ほど懇談させていただいて、緊張と炎暑の中での任務完遂をお祈りしたところです。

海上保安庁からの8名を含む約200名の隊員の皆様のご活躍を祈念しております。

(2) 地域議会を開催

ア 南関東地域協議会：9月3日・4日、木更津市で南関東地域協議会を開催しました。



高橋南関東地域協議会長をはじめ、南関東地域の各県会長、事務局長等の役員が参加するとともに、本部から増田会長、高田地域担当委員が出席しました。定例会議では、喫緊の課題である「会勢の維持・拡大のための方策」、厳しい募集環境を受けて「自衛隊が行う募集・援護活動に対する協力」について活発に意見交換し、また、本部からは安否確認システム「あんぴくん」の活用方法や普及のすすめ等について連絡しました。その後、木更津駐屯地に配備されているオスプレイの体験搭乗、意見交換会には東方



総監富樫陸将、第一師団長鳥海陸将をはじめとする高官にご出席いただき、リラックスした雰囲気ですりある意見交換ができました。

イ 九州・沖縄地域協議会：9月3日・4日、熊本市で九州・沖縄地域協議会を開催しました。



3日は総会と西部方面総監部との連絡会同、意見交換会。4日は健軍駐屯地に所在する第5地対艦ミサイル連隊の新隊員教育を研修しました。

九州・沖縄地域の各県会長、事務局長等が参加するとともに、本部から竹本地域担当委員、自衛隊側から総監部人事部長、人事課長、募集課長等が参加して事業報告や役員人事等の審議、家族会の現況と問題点について意見交換や情報発信を行い、安否確認システムの稼働、自衛隊のハラスメント対策、方面総監部に配置された家族支援業務補助員との連携、家族支援に関する年度及び中期計画の提示等が討議されました。意見交換会には総監部幕僚長、幕僚副長（行政・防衛）、



各地方協力本部長も出席し、家族会関係者相互に理解を促進した他、総監部高官や幕僚に家族会の悩みや各県固有の問題について理解を深めていただきました。



地对艦ミサイル連隊の訓練

ウ 中国地域協議会：9月5日・6日、岡山市で中国地域協議会を開催しました。



吉田中国地域協議会会長はじめ、中国地域の各県会長、副会長、事務局長等の役員、関係者が参加するとともに、本部から中畑委員が出席し、小野田紀美元防衛大臣政務官（参議院議員）を来賓としてお迎えしました。



小野田議員挨拶

会議には自衛隊岡山地方協力本部長山口1陸佐他の現職隊員が参加し、本部委託テーマ「会勢の維持・拡大のための方策」、「募集協力に県家族会として何をしているか？何が出来るか？」について活発に意見交換しました。その後、第13旅団長今村陸将補の「戦略三文書と陸上自衛隊・第13旅団」と題する講演を拝聴して見識を深め、



続く懇親会では、柚木道義衆議院議員、呉地方総監福田海将、今村第13旅団長、西部航空方面隊副司令官横尾空将補他陸海空の現職自衛官、家族会が交流し、和気あいあいの中で懇親を深めました。6日は岡山地方協力本部のご支援を得て岡山城を研修し、多大な成果を上げて終了しました。



岡山城石垣の前で

エ 北関東地域協議会：9月8日・9日、上田市で北関東地域協議会を開催しました



釘持北関東地域協議会会長はじめ、北関東地域の各県会長、事務局長等の役員、関係者が参加するとともに、本部から手塚地域担当委員が出席しました。自衛隊側からは東部方面総監部人事部長、

長野・群馬・新潟・栃木各地方協力本部長、松本に駐屯する第13普通科連隊長、松本駐屯地業務隊長等が出席し、岡部元陸上幕僚長の「日本の防衛を考える～自衛隊が活動するために～」と題する防衛講話には第12旅団長前島陸将補もご出席くださり、講話拝聴後の意見交換会には富樫東部方面総監も参加してくださいました。研究討議として「会勢の維持拡大のための方策」、「自衛官募集協力施策」という、どちらも危機的状況を打開するための意見が交換されました。9日には北向（きたむき）観音を研修し、安全を祈願して実り多い地域協議会を終えました。



(3) 家族支援協力活動協定書締結



高木会長 末田将補 小川隊友会長
(左から)

9月17日、千僧駐屯地において、千僧駐屯地、兵庫県自衛隊家族会、兵庫県隊友会が家族支援協力活動の協定を締結しました。

千僧駐屯地司令 末田陸将補、千僧駐屯地業務隊長 平田 1 佐、兵庫県隊友会から小川祥一会長と小林一吉事務局長、家族会からは、高木会長、後藤常任理事(伊丹顧問)、佐阪幹事(西神戸会長)、村岡副会長(川西猪名川会長)、古家理事

(東神戸会長)、高橋理事(宝塚会長)、豊田理事(伊丹副会長)、藤岡東神戸監事が出席した締結式の後のブリーフィングの席上、末田陸将補より「家族支援活動を関連団体の訓練参加含め積極的に進める」と力強いお申し出を頂きました。

(4) 家族会入会説明会

新入隊員家族と現役隊員へも

9月13日(金)大分市植田地区会は、大分分屯地(司令西山2陸佐)において、新隊員後期教育終了式に合わせて、ご家族及び人事関係隊員へ家族会入会の説明を実施しました。本説明会は、4月の地区総会に出席された西山分屯地司令が、家族会活動に強く関心を持たれ、会員数の減少傾向を危惧され、部隊の家族会協力推進の一環として会員獲得のための機会を設定してくださったものです。家族会パンフレット、おやばと、作成資料を配付し、家族会の現状(特に会員数の減)、活動内容、会員としての魅力等についての説明により入会を勧めました。現役隊員への説明は初めてのことであり、人事関係者を通じて所属隊員の家族会への理解が深まり入会家族が増えることを期待し、今後も今回のような機会をお願いいたしました。



4 事務局からの連絡

(1) ボランティア保険料の支払いについて

令和5年10月から更新したボランティア保険が令和6年9月末で満期（1年）となりました。各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に10月～12月の間に支払いをお願いします。

(2) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の梁池へご連絡下さい。

ア 入校・入隊者激励会用「おやばと」（無償配布）

入校・入隊者激励会用「おやばと2月号」希望数を**11月30日(木)**まで

イ 北方領土返還要求署名用紙

令和7年度希望数を **11月30日(木)** まで

(3) 令和6年度「活動状況等調査」の提出について

家族会本第20号(令和6年4月17日)にて、5年10月1日～6年9月30日を調査対象期間とし、**令和6年11月1日(金)**を提出期限としてお願いしております。あと2か月余りですが、ご準備のほどよろしくお願い致します。

以上